

大会名	第28回関東高等学校バスケットボール新人大会				チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	延長	合計
期 日	H30.2.10	会 場	清原体育館	試合No.	桐 光	10	14	33	17		74
主 審	若林 謙作	副 審	林原 潤	A 2	八 王 子	16	21	20	18		75

桐光学園高等学校(神奈川)

コーチ 高橋 正幸 A・コーチ 加藤 泰祐 マネジャー 高橋 遼平

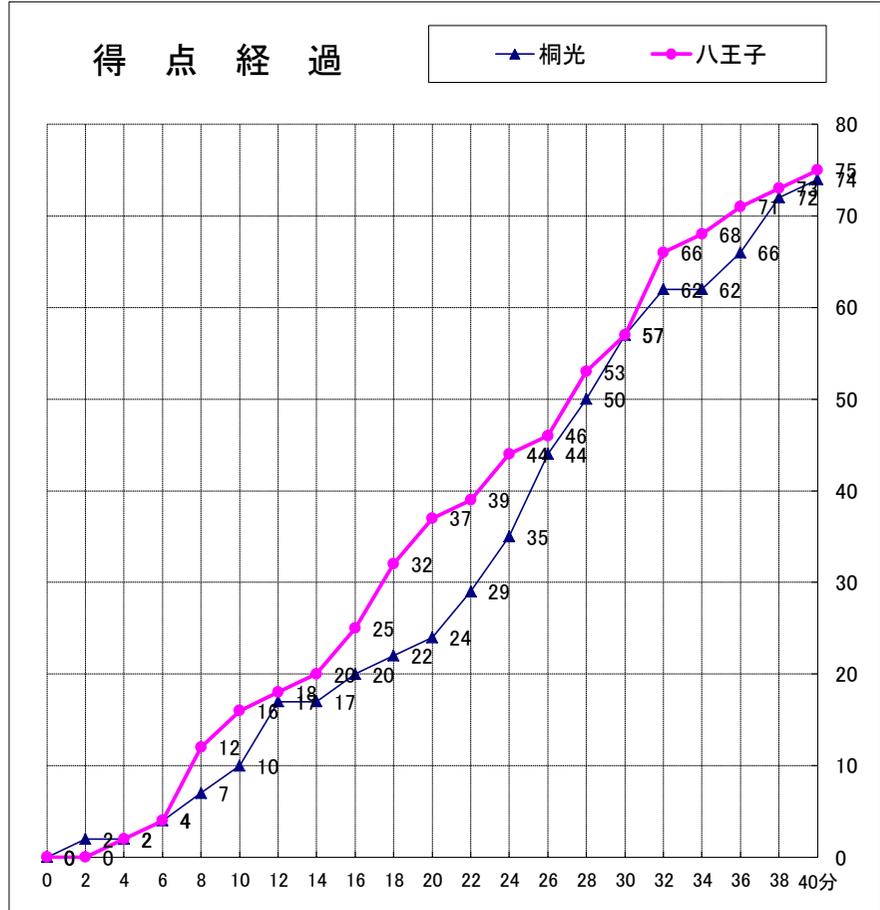
選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
鈴木 悠斗	4	13	1	2	5	10	0	4	1	6	2	8
関根 隆慈	5	19	3	10	4	7	2	2	1	0	3	3
鈴木 雄馬	6	22	3	10	6	12	1	1	4	0	5	5
鈴木 響希	7	8	0	0	3	14	2	2	1	2	5	7
吉田 敬陽	8	0	0	0	0	2	0	0	4	2	0	2
川戸 渚	9	2	0	1	1	3	0	0	0	1	1	2
橋本 恭典	10											
長谷川 丈	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
夏山 和己	12											
萩原 康平	13	2	0	0	1	4	0	0	1	0	1	1
柏 奏太	14	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
兪 龍海	15	8	0	0	4	11	0	0	3	3	3	6
川上 裕樹	16	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
鍵谷 和輝	17	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
佐藤 伶	18											
チ ャ ム										1	2	3
合 計		74	7	24	24	63	5	9	20	15	22	37
成功率			29.2%		38.1%		55.6%					

八王子学園八王子(東京)

コーチ 石川 淳一 A・コーチ 平川 啓太郎 マネジャー 福山 恋

選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
萱原 偉	91											
遠藤 涼真	5	10	0	1	3	5	4	6	3	4	7	11
半田 雄資	6	6	0	0	1	6	4	6	1	1	2	3
ウスマヌ ジャ	7	19	0	0	7	11	5	7	2	9	9	18
石川 竜生	10											
鴛田 風真	11	16	3	4	2	11	3	3	1	1	2	3
木村 圭吾	12	17	0	2	7	13	3	4	2	0	7	7
箭内 貴太	13											
野村 弘樹	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ババカルアイダラ ジャロ	15	7	0	0	3	5	1	1	2	0	4	4
攪上 颯斗	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川畑 輝	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青山 明	20											
葉山 郷	16											
五月女 杏紫	42											
チ ャ ム										2	4	6
合 計		75	3	7	23	51	20	27	11	17	35	52
成功率			42.9%		45.1%		74.1%					

得点経過



戦評

一回戦、桐光対八王子。両チームともハーフマンツウでスタートする。桐光がディフェンスを頑張り、④鈴木悠が味方のスティールを2本連続で得点へ繋げる。対する八王子は⑮ババカルアイダラにボールを集め、ポストプレーで得点をもぎ取る。高さで劣る桐光は④鈴木悠と⑥鈴木雄の3Pで応戦。一進一退の攻防が続き、10対16で八王子がリードで第1ピリオドを終える。第2ピリオド、桐光のスティールから得点が決まり、⑤関根の3P、⑦鈴木響のミドルシュートと連続得点で逆転するが、八王子がすぐに決め返し桐光のリードを許さない。八王子⑦ウスマスの高さを生かしたポストプレーでじりじりと点差が開いていく。残り3分、桐光学園のミスが続く、たまたまにタイムアウトを取り、立て直しにかかるが八王子の勢いは止まらず24対37で前半を終えた。後半、桐光④鈴木悠のアシストから⑥鈴木雄のシュートで試合が始まる。八王子は⑦ウスマスのゴール下で得点を稼ごうとするも、桐光⑦鈴木響が身体を張ってゴール下を譲らない。桐光は⑮兪の2連続のミドルシュートで勢いに乗る。桐光はガードの3人が脚を生かし、攻守両面で奮闘する。第3ピリオド終了間際、⑥鈴木雄の放った3Pがブザービートとなり、同点で最終ピリオドを迎えることとなった。第4ピリオド、開始1分で桐光⑥鈴木雄の3Pでリードするも、八王子⑪鴛田の3Pのパスカンや⑦ウスマスのゴール下で桐光の追撃を許さない。その後も激しい攻防が繰り広げられシーソーゲームが続いた。残り16秒、タイムアウト明けに⑫木村が体勢を崩しながらも得点に成功。このプレーが決勝点となり、八王子が1点のリードを死守して勝利を収めた。敗れたものの桐光の全力プレーは観客の心を掴んだことは間違いないだろう。

記入者 小山 幸広